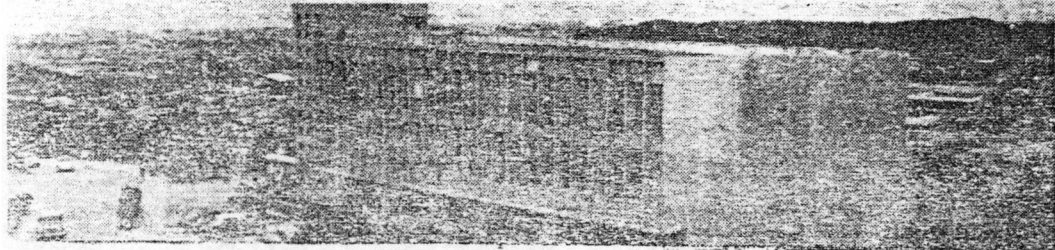


びぶりお



Vol.5 No.3 The University of the Ryukyus Library Bulletin 1971.11.12

資料の検索・入手 <1>

情報化社会

有史以来、今日程情報が氾濫した時代はなく、「情報の爆発」とか、あるいは「情報の洪水」とかいられている。情報の量が増加しだしたのは科学技術研究が発展しはじめた19世紀の末から今世紀のはじめにかけてだが、いちぢるしいふえかたをしたのは第2次大戦後であり、最近では「情報氾濫時代」とさえいわれるようになった。ちなみに自然科学の化学の関連分野のみをとってみても、世界的に有名な化学文献抄録誌 *Chemical Abstracts* の1965年と'66年の論文増加率(年)でみると、7~8年ごとに倍増することが化学関係誌上で報告されており、前掲抄録誌1970年末の論文収録数は27万件とも、28万件ともいわれ、これだけとってみてもいかに膨大なものであるかがわかる。

またすでに、10年程前に有機化学のなかの分析化学の分野だけの、一ヶ月間にわたる雑誌論文を読むのに一ヶ月かかってやっと読み終えるといわれたが、今日ではとても読めない程の論文数に達していることが想像できる。

このように、文献が大量にふえてくると、自分の研究分野にどんな文献があったか研究者といえどもそれ相応の準備を怠るとなかなかわからないし、まして「必要な資料」を、「必要な時」に入手することは不可能になっており、研究者にとって重大問題に

なっている。

（たがって、これらの問題は研究者にとって早急に解決されなければならぬことはいうまでもない。

以上のような大量の文献を完全に処理し、かつ研究者の要求に即応できるように考えられたのが、コンピューターを利用した情報検索である。これは通信を背景にして展開された Wiener,

Shannon 等の情報理論の応用であり、いわゆる「情報の量的把握」であるといわれている。即ち、情報化社会にあつて従来の処理方法ではとても研究者に対応できないので、すべての情報をコンピューターに蓄積しておき、研究者が必要な時にただちにひきだして提供することである。つまり電子計算機が情報活動にとり入れられるようになったのである。アメリカでは MEDLARS (Medical Literature Analysis and Retrieval System = 医学文献分析・検索システム - 米国国立医学図書館で開発されたもの) が、1964年から、また MARC II (Machine Readable Cataloging = 機械可読目録 - 議会図書館で開発されたもの) が、1969年からそれぞれ活動をはじめており、アメリカ国内は勿論、国外にも情報サービスの Network を作り、一国だけにかぎらず世界的な規模でサービスを行なっている。

一方我が国においては、MEDLARS は慶応大学医学図書館と、また MARC II は国立国会図書館と提携して情報サービスが予定されており、さらに他の大学図書館でもコンピューターの導入、または計画が行なわれ、我が国図書館界もコンピューター時代に入れた感がある。これらの電子計算機による情報提供は一種の情報の流通革命ともいえるものであり、今後の研究活動に非常に重要な役割を果すものと期待されている。

このように管理された情報は、国別、地域別、あるいはブロック別にプールされて、いわゆる情報センターとなり、必要な資料は必要な時にいつでもいもづる式に検索、入手することができるようになる。

とはいうものの、すべての末端研究者がコンピューターの恩恵を
 受けるまでにはなお時間がかかることは間違いない。

したがって、研究者は従来の検索方法での、網羅的、かつまた
 無駄のない有効な文献の検索、入手技術を身につけなければなる
 まい。〔雑誌担当参考司書・新井裕丈〕

学科別教職員貸出冊数調 (一般図書)

1971年3月31日現在

学部	学科	貸出冊数	滞納冊数	比率	教員数	一人平均貸出
法 文	国語国文	114	85	75%	6	19冊
	英語英文	1,055	797	76	18	59
	歴史	482	274	57	6	80
	地理	136	8	6	5	27
	法政	1,156	848	73	10	116
	社会	969	847	87	5	194
	経済学	103	45	44	6	17
	商学	178	126	71	5	36
	美術工芸	93	58	62	5	19
計	4,286	3,088	72	66	65	
教 育	教 育	335	175	52	9	37
	心理	479	360	76	7	68
	初級	491	307	63	9	55
	音楽	101	99	98	4	25
	体育	325	228	70	8	41
	技術教育	515	331	64	6	86
計	2,246	1,500	67	43	52	
理 工	数 学	72	50	69	8	9
	物 理	425	245	58	9	47
	化 学	592	439	74	8	74
	生 物	618	525	85	9	69
	機械工学	1,001	878	88	8	125
	土木工学	1,255	1,060	84	6	209
	電気工学	231	134	58	7	33
計	4,194	3,331	79	55	76	

農 学	農学	449	322	72	7	64
	農芸化学	990	761	77	8	120
	農業工学	619	496	80	6	103
	畜産学	575	388	67	4	144
	森林学	496	416	84	7	71
	家政	1,289	784	61	11	117
	計	4,418	3,167	72	43	163
教養						
	教養	1,219	660	54	20	61
短大						
	短大	407	132	32	9	45
	総計	16,770	11,878	71	236	71

上の表は、教官帯出中国書冊数で、1971年3月31日現在所持している図書について調査したものです。

貸出図書16,770冊のうち11,878冊が一年以上教官の手許におかれています。即ち貸出図書の71%が長期に所持されています。

その中には研究助成費購入図書も含まれるが、事務処理の時間の都合で調査の際区別しなかった。研究助成費図書の占める冊数の割合は多数が返本されて、極めて低いと思われます。

教官への図書貸出期間は、現在は6ヶ月で運用されており、返却日付印を裏表紙のデイトスリップに押し貸出を行っているので、帯出中の図書について確認していただきたい。

期限の切れた図書については更新手続を行って使用してもらいます。これらのことに留意していただかないと、紛失、不明等の図書がでてくるし、長期に持っているうちに又貸等の規則違反が行われたりして、紛失したりという例もあります。

琉球大学付属図書館報“びぶりお”第5巻3号(通号・18号)

1971年11月12日発行 編集兼発行人 平良 恵仁

沖縄那覇市当蔵町3丁目1番地 Tel. 34-0101(240)